

出かけたさきでの防犯対策

～街頭で犯罪被害に遭わないために～

街頭犯罪 犯行手口別の防犯対策

手口1

「ひったくり」

ある日のAさんの場合



さあたいへん。
ここで事件を
検証してみま
しょう。

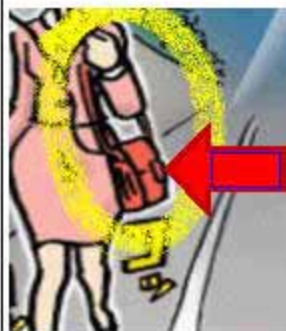


「周囲への警戒は？」



「音楽を聴きながら」
歩いています。

「荷物はどっち側？」



「車道側」に
荷物を持っ
ています。



「ひったくり」は、女性や高齢者など、**弱い者をねらう**卑劣な犯罪です。

お金や大切な物を盗まれるだけでなく、ひったくられるときに**転倒させられ、大けがを負う**ことも……！
踏んだり蹴ったりとはまさにこのこと。



そうならないためには…



さきほどのAさんの事件も参考に、**対策をたてましょう。**



対策その1 ☆☆ 周囲に気を配る（特にうしろ！）☆☆

ひったくり犯の9割以上が、「うしろから」被害者を狙っています。
Aさんのように、音楽を聴きながら歩いたり、ケータイでメールに夢中になっていたりすると、後ろから狙っている犯人に気づくことができません。



ひったくり犯は「油断している獲物」を待ちかまえています。
物音が聞こえてきたら、音のする方を振り返り、用心しましょう。
銀行や郵便局、ATMなどを利用した後は、特に周囲に気をつけましょう。
大金を持ち歩くときは、2人以上で行動するようにしましょう。



対策その2 ☆☆ 荷物の持ち方に注意! ☆☆

ひったくり被害の半数が歩いているとき、半数が自転車に乗っているときです。

建物側に持つ



たすき掛け

徒歩の場合

車道の反対側に持ちましょう。

たすき掛けが安心です。



自転車の場合

被害のほとんどが前かごから荷物をひたたくられています。



かごに荷物を入れて、防犯カバーや防犯ネットをきっちりかけましょう。

ストラップや持ち手などがかごからはみ出ないように、しっかりとカバーをします。



対策その3 ☆☆ 実行する! (重要です) ☆☆

防犯対策を「知っている」だけでは被害を防ぐことはできません。

自分を守るため、「知っている」ことを実行しましょう。

